



桐苑祭（合唱コンクール）～心をつに～

10月20日（金）に桐苑祭がありました。今年度は3年ぶりに全学年が体育館に集まり、各学習の発表や合唱を直接鑑賞することができました。

前半では、学習の成果発表（平和大使の報告、英語プレゼンテーションフォーラム発表、青年の主張発表、「石岡市への提言」、文化部の発表）を行い、これまで取り組んできた学習を、しっかりと伝えてくれました。

後半では、合唱コンクールを実施しました。今年度も、課題曲と自由曲の2曲にチャレンジし、どの学年もすばらしい歌声を披露しました。1年生は初めての合唱コンクールでしたが、1年生らしく元気な歌声を聴かせてくれました。2年生は、1年生の時よりも成長した歌声で、クラスの絆の強さや団結力を見せてくれました。3年生は心に響く歌声で、合唱への熱い思いで、多くの人に感動を与えてくれました。それぞれの学年・学級で創り上げたこの経験は、これからの学校生活に生かされていくことと思います。保護者の皆様には、時間を区切ったの参観に、ご理解とご協力をいただきありがとうございました。

実行委員長あいさつ 3-1 五木田 優真

今年度の合唱コンクールも、新型コロナウイルスやインフルエンザの感染が心配される中、このように皆で体育館に集まって、無事開催することができました。初めて合唱コンクールを行う1年生、来年最高学年となる2年生、そして最後の合唱コンクールとなる3年生。すべてのクラスが、金賞を勝ち取るために一丸となって練習してきたことと思います。特に今年はインフルエンザの影響で練習時間が少ない中、全員が本番に向け頑張ってきました。

今年のスローガンは「一唱三嘆（いっしょうさんたん）」です。一人の歌が3人を感動させ、その感動の輪がどんどん広がってほしいという願いを込めました。僕たち石中生一人一人が「一唱三嘆」で歌い、この会場全体を感動で包み込み、最高の合唱コンクールにしましょう。

合唱クールを行うにあたって協力してくださった先生方、保護者の皆様には深くお礼を申し上げます。ご来場の皆様、これまで練習に励んできた石中生、そして皆様にとって最高の合唱コンクールとなるよう、応援をよろしく願いいたします。



◎指揮者賞 ○伴奏者賞 (敬称略)

学年組	課題曲 自由曲	指揮者	伴奏者
1-4 銀賞	夢の世界を	押野留偉斗	相澤 優希
	カリブ夢の旅	◎松本 知真	石井 美帆
1-1	夢の世界を	◎清原 一花	○栗原 侑大
	この星に生まれて	石崎 凜	本田 美月
1-3	夢の世界を	平本 愛琳	岩瀬 花帆
	マイ バラード	新井 彰真	石井 楓
1-2 銅賞	夢の世界を	伊藤 凧沙	井上 莉緒
	旅立ちの時 ～Asian Dream Song～	石井美莉愛	廣原 凜子
1-5 金賞	夢の世界を	磯山幸里羽	中島梨央那
	大切なもの	野々村陽向	○大森朱芳



学年組	課題曲 自由曲	指揮者 (敬称略)	伴奏者
2-4	Let's search for tomorrow	富田 郁也	前島 ナツ
	HEIWAの鐘	◎國 仁武	山口 真澄
2-6	Let's search for tomorrow	◎照山 将梧	飛田 美結
	友よ	小池 理人	○前野 和実
2-5 金賞	Let's search for tomorrow	大宮 雄羽	柴崎 美緒
	あなたへ -旅立ちに寄せるメッセージ-	齋藤 悠真	小吹 澪
2-3	Let's search for tomorrow	畠中 琉誓	谷田部 遥
	輝くために	小貫 太一	立川 心春
2-2 銅賞	Let's search for tomorrow	新井聡太郎	○沼田 花穂
	COSMOS	佐藤 泉里	沼田 花穂
2-1 銀賞	Let's search for tomorrow	高野 優大	阿部 泰之
	空は今	坏 ひなた	田中 寧音



学年組	課題曲 自由曲	指揮者	伴奏者
3-4	遠い日の歌	◎川並 大和	大洲 悠音
	君の隣にいたいから	鈴木 雄喜	沼田友里愛
3-5 金賞	遠い日の歌	平澤 琉一	○木村 心晴
	青葉の歌	氏家 陸斗	茂木 友香
3-3 銅賞	遠い日の歌	佐々木峻汰	木村 花翠
	証	太田 健心	浅野 百華
3-1 銀賞	遠い日の歌	飯島 蒼	石倉 千聖
	春に	◎山井 大馳	須加田梨沙
3-2	遠い日の歌	友部 結	白石 桃花
	虹	押野亜梨寿	○野口 瑞稀

